

## 4 歴史伝承プロジェクトの展開

### ① 常設展示施設を整備・運営

成田空港問題について、その発生から対立、そして共生へ向けた過程を正しく伝えることを目的に、1997年から歴史伝承プロジェクトが展開されてきた。

このプロジェクトは、当初は成田空港地域共生委員会内に設置された「歴史伝承部会」が担当し、NAA民営化後は、財団法人航空科学振興財団に移管されて「歴史伝承委員会」が担当してきたが、成田空港を取り巻く状況が変化する中で共生スキームの見直しが行われ、その一環として、このプロジェクトについても、そのあり方が見直されることとなった。

国土交通省・千葉県・NAAの関係者が協議した結果、2008年4月、歴史伝承プロジェクトはNAA事業として継続し、常設展示施設を整備するという「NAA素案」がとりまとめられ、これを具体的に進めるにあたり、従来の歴史伝承委員会に代わってNAA内にプロジェクトチームを設置することとし、2008年12月に第64回共生委員会で承認された。

このプロジェクトチームは、NAA社長の諮問機関として「NAA歴史伝承委員会」という名称で設置され、建設側と反対側の双方の観点からバランスの良い展示をするために委員会内に「地域専門部会」を設けて、地域の皆様のご意見をいただきながらプロジェクトを進めてきた。

そして、2011年6月、芝山町の航空科学博物館敷地内に常設展示施設「成田空港 空と大地の歴史館」が開館した。館内には、常設展示のほかに、企画展示



▲NAA歴史伝承委員会のミーティング風景

スペースも設けており、開館記念特別展「日本の空港と地域の行司役 山本雄二郎の語りと行動」(2011年6月～2012年3月)では、共生委員会代表委員および共生・共栄会議会長を務め、成田だけでなく、日本各地の空港と地域の交通に関わる問題や街づくりに、まさに「行司役」として長年携わってきた山本雄二郎氏を紹介した。

なお、常設展示施設の整備に向けて設置されたNAA歴史伝承委員会および地域専門部会は、その役割を終えていたが、開館後の「成田空港 空と大地の歴史館」の円滑な運営を図るとともに、展示内容や運営体制を具体的に検討する必要があったため、構成員を再編したうえで、「NAA歴史伝承委員会」および「運営検討部会」として活動している。

▼「成田空港 空と大地の歴史館」外観



▼開館以来、多くの見学者が訪れている



## 成田空港 空と大地の歴史館

### ■ コンセプト

- これまで収集してきた資料とともに、成田空港がどのような経緯を経て今日の状態に至っているか（長い対立から地域とともに歩むに至った経緯）を明らかにする。
- 成田空港の歴史に関わってきたさまざまな立場の方々の苦労、苦闘、想いを伝える。
- 地域の方々とともに内容を整理し、建設側と反対側の双方の観点からバランスの良い展示に配慮する。

### ■ 展示形式

開港計画前の地域の様子から、現在、そして未来の成田空港の様子まで、以下の9つのコーナーごとに時系列に沿って時計回りに展示している。

#### 利用案内

- 開館時間 10:00～17:00（入館は16:30まで）
- 休館 月曜日（祝日の場合は翌日）  
年末年始（12月29日～1月3日）
- 入館料 無料

